

協会だより

(一社)秋田市建設業協会

目 次

1. 定例会議

- 理事会
- 工務委員会
- 運営委員会

2. 行事報告

- 役員会ゴルフコンペ・懇親会

3. 部会・青年会の活動

- 建築部会役員会
- 土木部会役員会
- 青年会役員会
- 土木部会・建築部会の役員会及び
入札制度の検討等特別委員会による合同会議
- 建築部会現場見学会
- 総合評価落札方式問題の各会（土木部会・建築部会・
入札制度の検討等特別委員会）トップ役員会

1. 定例会議

○理事会

6月29日(月)

理事16名、監事1名及び特命参与が出席し、以下のとおり議事が進められました。
《報告事項等》

下記9項目について、各委員会及び部会の報告を出席理事及び事務局長が行い承認されました。

1. 工務委員会(6/2)について
2. 建築部会役員会(6/3)について
3. 土木部会役員会(6/4)について
4. 青年会役員会(6/15)について
5. 土木部会・建築部会の役員会
及び入札制度の検討等特別委員会による合同会議(6/17)について
6. 役員ゴルフコンペ・懇親会(6/23)について
7. 運営委員会(6/24)について
8. 総合評価落札方式問題の各会(土木部会・建築部会・入札検討等特別委員会)
トップ役員会(6/24)について
9. 建築部会現場見学会(6/25)について

《議事の経過及び議案別議決の結果》

1. 会員権継承について
阿部運営委員長が会員権継承審査基準に基づき資料説明を行い承認されました。
2. 総合評価落札方式問題への対応について
総合評価落札方式における問題点について、事務局が資料に基づき説明を行い今後の対応について承認されました。

《その他》

今後の協会の関係行事の日程について事務局が報告しました。

1. 企画委員会(7/8)の開催 「今年度事業計画について」
2. 平成27年度労働災害防止に関する秋田地区建設工事関係者連絡会議
日時 : 7月9日(木)午後2時~4時
場所 : 秋田市文化会館
出席者 : 岡部工務委員長、石川工務副委員長、小玉事務局長
3. 秋田市新庁舎工事現場見学会
日時 : 7月15日(木)午後1時30分~3時30分
4. 担い手三法「出前講座」現在申請中
日時 : 7月30日午後3時~4時30分 場所 : 未定
講座テーマ : 公共事業における話題(品確法、発注者責任等)

※ 次回の三役会・理事会の開催日は、7月27日(月)予定。

○工務委員会

6月2日(火)

平成27年度事業計画について

1. 地域振興に関する事業

a. 人材育成・研修事業

(1) 測量技術研修会

協議結果 ⇒ 秋田市建設技術協会主催による測量技術研修会に、多数の会員を勧誘し参加することとしました。

(2) 建設技術研修会

協議結果 ⇒ 7月15日(水) 予定の秋田市新庁舎建設工事現場見学会を協会の事業として位置付け、各社より若手職員も含め多数の参加を募ることとしました。

(3) 安全管理研修会

協議結果 ⇒ 秋田労働基準監督署に労働災害防止と労務管理、若しくは今年度の同監督署推進事項に関する講演会を依頼する事としました。

b. 安全推進事業

(1) 建設工事現場安全パトロール

協議結果 ⇒ 例年と同じく、秋田市工事検査室からの依頼に基づき対応する事としました。

2. その他の会計(共益事業)

a. その他

(1) 道路除排雪に関する安全確保事業

報告事項 ⇒ ゆき対策担当課との意見交換会
道路除排雪に関する意見交換会 道路維持課 ゆき担当
道路除排雪委託業務等に係る契約希望者の登録について
出席者：山岡副会長(土木部会長)、三浦会計理事
岡部工務委員長他 4/28

協議結果 ⇒ 道路維持課ゆき担当との意見交換会を2回程度行う事としました。

○運営委員会

6月24日(水)

事務局より会員権継承について(正会員 三菱マテリアル電子化成株式会社 代表者の変更)申請内容の説明があり、定款12条及び会員権継承審査基準に基づき審査した結果、運営委員会としてこれを理事会に諮ることといたしました。

2. 行事報告

○役員会ゴルフコンペ・懇親会

6月23日(火)

秋田椿台カントリークラブで開催した役員ゴルフコンペには15名が参加し、表彰式及び懇親会には17名が参加しました。成績は以下の通り(継承省略)

優勝	阿部幸雄	(株水原工務店)
準優勝	伊藤満	(株伊藤工業)
三位	加賀屋篤	(株加賀屋組)
ベスグロ	伊藤満	(株伊藤工業)



3. 部会・青年会の活動

○建築部会役員会

6月3日(水)

役員11名が出席し下記項目について協議しました。

1. 平成27年度事業について

(1) 役員会 — 随時

協議事項 ⇒ 今後の実施される事業内容に応じて行う。

(2) 例会 — 適宜

a 技術講習会

報告事項 ⇒ H27年4月23日メトロポリタン秋田に於いて、テーマ「秋田市建築関連事業等について」の講演会を実施しました。

b 市内新築施設視察研修

視察先 — 東部市民サービスセンター「いーぱる」

協議事項 ⇒ 秋田市建築課設計担当の都合を優先して6月中に実施する事としました。

c 秋田市住宅・建築物耐震改修促進協議会と合同事業実施

報告事項 ⇒ 総会の開催予定を9月頃としていることから、今後秋田市建築指導課の要請により対応する事としました。

d 建築関連団体活動

協議事項 ⇒ 来年2月中旬に定時総会を開催する事としました。

e その他情報収集等

協議事項 ⇒ 総合評価落札方式に関して、建築関連団体の状況を把握し、必要によっては共同による要望書提出を考慮する事としました。

(3) 新年会

協議事項 ⇒ H28年1月中旬を予定し、幹事長に伊藤満氏を指名しました。

(4) 会員交流会 — 1回

協議事項 ⇒ 協会、土木、建築合同ゴルフコンペとし、幹事長に珍田幹事を指名しました。

○建築部会現場見学会

6月25日(木)

平成27年6月25日(木)午後2時より、長谷駒・中央・加藤JVによる東部市民サービスセンター「いーぱる」の現場を、会員及びその社員16名が見学しました。

建設工事現場の会議室に於いて、設計者である秋田市建築課真下主査から、資料を基に設計概要等について説明をしていただき、また菅原現場代理人からは、工程表の説明と併せて下請け業者や資材等の確保が順調に進まず苦労したお話がありました。

その後、建物内に入り多目的ホール、地域文化ホール、子育て交流ひろば、陶芸工作室及び和室等の出来栄の良さに感嘆し、関係者の皆様のご協力に感謝を申し上げ解

散しました。



設計概要説明



多目的ホール



地域文化ホール



子育て交流ひろば

○土木部会役員会

6月4日(木)

役員10名が出席し下記項目について協議しました。

1. 平成27年度事業について

(1) 講演会

報告事項 ⇒ 4月21日第一会館本館において、平成27年度秋田市土木関連事業等についての講演会を行いました。

研修会(意見交換会)

報告事項 ⇒ 4月28日道路除排雪委託業務に係る契約希望者の登録に関する意見交換会を行いました。

協議事項 ⇒ 除雪に関する道路維持課との意見交換会は、今後も維持課からの要請に応じて行う事といたしました。

また、担い手三法の講演会を開催し、法改正の目的である発注者の責務を鑑みて、協会員全体及び秋田市の入札担当者や技術職員も含めた講演会とするよう努めることとしました。

(2) 会員交流会

協議事項 ⇒ 協会合同ゴルフコンペ・懇談会として行う事としました。また土木部会からの代表幹事は、伊藤満幹事に決まりました。

(3) 忘年会

協議事項 ⇒ 代表幹事を豊島監事に決定し、場所、アトラクション等について一任し、次回の役員会で報告する事としました。

○土木部会・建築部会の役員会及び入札制度の

検討等特別委員会による合同会議

6月17日(水)

目的 ～ 「総合評価落札方式における問題点の抽出」

事務局は平成26年度内の秋田市公契約基本条例に関連する総合評価落札方式により落札した土木工事12件と建築工事9件について、受注者より提出された同落札方式の問題点について報告を行いました。

今後の対応については、理事会報告前に林会長はじめ各部会等トップ役員による会議を6月24日午後1時より開くこととしました。

○総合評価落札方式問題の各会（土木部会・建築部会・入札制度の

検討等特別委員会）トップ役員会

6月24日(水)

総合評価落札方式の問題抽出により、秋田市との意見交換項目を検討した結果、次回の理事会には下記の問題と今後の対応について諮ることとしました。

1. 労働環境評価項目における問題

- ① 応札時の労働環境評価台帳による作業報酬額の評価を、「秋田市公契約基本条例の目的に沿う雇用条件に努めるか否か」へと、評価変更が出来ないか。
(工事着工前では具体性(作業報酬額)に乏しく、評価に至らない。)
- ② 各工種における労働者への作業報酬額支払状況を、受注者が管理することは現実的(受注者には権限がない)ではなく、一次以降の各下請け会社が、公契約基本条例に基づきその管理を履行すべきではないか。
(または、関連する労働組合等がその管理者として適任ではないか。)
- ③ 総合評価落札方式ガイドラインに基づく賃金台帳の管理業務量は想像以上に多いが、従来から受注額には含まれていないため、過剰な管理業務自体が公契約基本条例に反しないか。
- ④ 労働者作業報酬額(日額賃金)の内訳明細書の統一化が必要である。
(ガイダンスの作業報酬額の日額内訳と、職種ごとに記載してある当該年度労務単価の内訳内容は同一の基準か)

- ⑤ 市職員の秋田市公契約基本条例と総合評価落札方式における評価内容や提出書類等の認識が統一されていない。
(入札事務職と現場監督職の同条例や方式に対する対応が不統一)
- ⑥ 応札時に全工種の賃金や資機材の調達による請負額の具現化は、現実的ではなくなじまない。
(仕事量と地元下請企業の状況、工法と工期、天候等に対する臨機応変な対応が必要)

2. 地元貢献評価項目における問題

- ① 下請負人への発注予定の評価において、末端までの提出は無理無駄が多く、応札段階では一次下請けまでの評価と出来ないか。
- ② 応札段階で資機材の調達先全てを市内企業等と特定することは困難である。また、工法、品質、工期、天候、単価によっては例外規定による救済が必要。

3. 総合評価点の算定方法 における問題 (前年度も調査基準価格について要望済み)

- ① 低入札価格調査制度の算定式の改善が必要である。
(秋田県など先進都市並みに)

4. 今後の対応 (理事会報告後の対応について)

- ① 秋田市総務部契約課との意見交換会を行う。

○青年会役員会

6月15日(月)

議題1. 秋田市との意見交換会について

7月23日か24日の予定で、秋田市工事検査室並びに他部署の若手技師との意見交換会を開催の予定で、承認されました。